

# 第九 ひろしま 2022

《アルト》  
佐々木有紀

《ソプラノ》  
小林良子

《テノール》 藤田卓也

《ヴァイオリン》  
平石英心リチャード

《バリトン》 折河宏治

広島から奏でる希望のメッセージ  
～いま届けたい平和の調べ～

※演奏曲目※  
＜第1部＞ ヤン・フレンケリ作曲、ガムザードフ作詞 「鶴たち」  
＜第2部＞ ベートーヴェン 交響曲第9番ニ短調Op.125 「合唱」  
※演奏曲・演出内容を変更する場合がございます。

《指揮》 西本智実

© 塩澤秀樹

《管弦楽》 広島交響楽団 《合唱》 第九ひろしま2022合唱団

2022.12.18 [日] 開演 / 15:00  
開場 / 14:00

広島サンプラザホール  
広島市西区商工センター3丁目1-1

入場料 / 一般前売り ¥4,500 (税込) 全席自由  
10月15日(土) 10:00 チケット発売予定

※4歳以上は有料です。3歳以下の入場はお断りします。※会場への入り口は西口(公園側)のみとさせていただきます。

販売プレイガイド

■RCCオンラインチケット ■エディオン広島本店PG ■生協ひろしま  
■福屋広島駅前店チケットサロン ■グリーンコンサート広島 ■セブンチケット  
■ローソンチケット(Lコード:62384) ■チケットぴあ(Pコード:227-397)

【WEB配信】終演後～12月19日(月) 23:59まで全楽章配信 【テレビ特別番組】 12月25日(日) 16:00～17:00 (予定)  
【ラジオ特別番組】 12月28日(水) 22:00～23:00 (予定) ※全楽章は12月末深夜に放送予定

お問合せ先: RCC事業部第九ひろしま事務局 tel.082-222-1133(平日10～17時)

主催: 中国放送 特別協賛: 株式会社 サタケ

後援: 広島県・広島市・広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・中国新聞社・ドイツ連邦共和国総領事館

第九ひろしま

フェイスブックで  
最新情報をチェック!





© 堀隆弘

世界各国を代表するオーケストラ・名門国立歌劇場・国際音楽祭より招聘。ダボス会議(WEF)「2030年イニシアティブ」に取り組むヤンググローバルリーダー、広島大学特命教授、大阪音楽大学客員教授、広州大劇院名誉芸術顧問、大阪国際文化大使、パチカン国際音楽祭名誉パートナー指揮者、ヨーロッパ文化支援財団(EUFSC)指名指揮者ほか。

2015年原爆投下70年に際して、パチカン サンビエトロ大聖堂首席司祭アンジェロ・コマストリ枢機卿より広島市長と長崎市長宛ての親書が西本に託され、広島市長、長崎市長に手渡した。

『サンビエトロ大聖堂ローマ教皇の名によるミサ』、『高野山開創1200年記念法要』、北京大劇院における『北京大劇院日中平和友好条約締結40周年』、エルサレム マラー交響曲演奏はイスラエル全土にFM局よりLIVE放送される

など、歴史的演奏会を指揮。

芸術監督として舞台演出・指揮した『泉涌寺音舞台』は【ニューヨークUS国際映像祭TVパフォーマンス部門銀賞】【ワールドメディアフェスティバル ドキュメンタリー芸術番組部門銀賞】受賞、Fondazione pro Musica e Arte Sacra「名賞賞」、内閣官房国家戦略室「国家戦略担当大臣サックスター」など受賞多数。

2015年G7(エルマウ)、2016年G7(伊勢志摩)日本国を紹介するテレビCMに起用。CNNインターナショナル、ZDF、独仏共同文化放送テレビArte他で日本を代表する芸術家としてドキュメンタリーや演奏が世界各国で放送・配信されている。

2022年より内閣府「ムーンショット目標9」のサブ プロジェクトマネージャー及び Principal Investigatorを務めている。



国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace～音楽で平和を～」を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演

指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和のタペ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞歴多数。

公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

## Soprano ソプラノ

小林良子 Yoshiko Kobayashi



広島県出身。エリザベト音楽大学卒業、同大学大学院修士課程修了。06年ロータリー財団国際親善奨学生として渡渡、ブライナー音楽院にてDiplom取得。09年ウィーン国立音楽大学研究課程リート・オラトリー科修了。第10回大阪国際音楽コンクール歌曲-U部門第一位、グランドファイナルにおいてグランプリ受賞。日壊文化協会フレッシュコンサート2010年度において最優秀賞受賞。広島を拠点にオペラ、コンサートへの出演の他、様々な演奏家との共演など、県内外で精力的な演奏活動を展開している。

オペラでは、『魔笛』夜の女王・パミーナ、『フィガロの結婚』スザンナ、『イドメネオ』イリア、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『カルメン』ラスカータ等で出演。また、バッハ『口短調ミサ』、モーツァルト『戴冠ミサ』、『大ミサ曲』短調、メンデルスゾーン『エリアス』などの宗教曲やベートーヴェン『第九』のソリストも務める。エリザベト音楽大学准教授。

## Alto アルト

佐々木有紀 Yuki Sasaki



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学3年次に飛び級を経て、同大学院修士課程を首席で修了。広島プロミシングコンサート、新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズにて広島交響楽団と共演。飯塚新人音楽コンクール入選。公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団2019年度イタリア留学助成金奨学生オーディション合格。オペラでは、『イドメネオ』イダマンテ、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『ゴジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、デスピーナ、『カルメン』カルメン、『ヘンゼルとグレーテル』母親、『蝶々夫人』スズキ、『修道女アンジェリカ』公爵夫人、『ジャンニ・スキッキ』ズィータ、『子どもと呪文』母親、中国のキャップ、『イル・カンピエロ』オルソラ役を務める。また、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『大ミサ短調』、メンデルスゾーン『エリヤ』など多くの宗教曲、ベートーヴェン『交響曲第9番』のソリストとしても活動。声楽を番場ちひろ、藤井美雪の各氏に師事。

## Tenor テノール

藤田卓也 Takuya Fujita



島根大学卒業、同大学院修了後、渡欧。これまでに、ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位(チェコ)等を受賞。2003年スロヴァキアのコシツェ国立歌劇場にて「椿姫」アルフレード役でオペラデビューし、各国歌劇場等でのオペラ公演、音楽祭にソリストとして出演。2006年より帰国して各地で「魔笛」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「ラ・ファヴォリータ」「清教徒」「リゴレット」「アイーダ」「妖精ヴェリ」「マノン・レスコー」「ラ・ボエーム」「トゥーランドット」「トスカ」等のオペラ、宗教曲等に出演。2018年第61回NHKニューイヤーパーラコンサート、会津

オペラ「白虎」飯沼貞吉役、NISSAY OPERA 2019「トスカ」カヴァラドッシ役、で出演。2015年藤原歌劇団に入団以降2021年までに「仮面舞踏会」リカルド、「ドン・パスクワレ」エルネスト、「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ポルリオーネ、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォ役で出演し好評を得る。

2022/23の公演では「蝶々夫人」「トスカ」に出演予定。大阪音楽大学特任准教授、くらしき作陽大学非常勤講師。

## Baritone バリトン

折河宏治 Hiroharu Orihara



国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。第14回日本モーツァルト音楽コンクール第3位。ウィーンで研鑽を積む。藤原歌劇団公演(イル・カンピエロ)にアストルフィとして出演、藤原歌劇団デビューを果たす。続いて、アラン・ギンガル指揮「蝶々夫人」、アルベルト・ゼツダ指揮「セヴィリアの理髪師」に出演。また日生劇場公演ではこれまでに十東尚宏指揮(ジャンニ・スキッキ)(公証人)、広上淳一指揮(利口な女狐の物語)・佐川吉男音楽賞受賞作品(ハラシュタ)、上岡敏之指揮「魔笛」(パパゲーノ)、広上淳一指揮(フィガロの結婚)(フィガロ)に出演。2011年度エリザベト

音楽大学着任後は、西日本に拠点を移してオペラやコンサートなどで精力的に活動中。ひろしまオペラフェスティバル公演では、『遣唐使』、『カルメン』、『リアの物語』、『フィガロの結婚』、『ジャンニ・スキッキ』、『班女』、『ドン・ジョヴァンニ』に出演。2015年8月には、マツダスタジアムでの広島東洋カープ主催試合において国歌を斉唱。2015年及び2020年に広島サンプラザホールで開催の「サタケ第九ひろしま」のソリストを務める。第37回県民文化奨励賞受賞。エリザベト音楽大学准教授。

## Violin ヴァイオリン 平石英心リチャード Richard Eishin Kiraishi



2007年広島に生まれ、5歳よりヴァイオリン、7歳よりピアノを始める。2017年より、ドイツハノーバーに在住。ハノーバー音楽大学プレカレッジプログラムを卒業。これまでに、児玉美智、Natalia Honcharyk、村上直子の各氏に師事。現在はNana Jashwilli、Tetyana Kashitska、Arnold Bulkinに師事。

## 原 題 : Журавли

「鶴たち」 ヤン・フレンケリ作曲、ガムザードフ作詞、山下康介編曲

「鶴たち」は、1965年に広島で開催された原水爆禁止世界大会に出席したソビエト連邦ダゲスタン共和国の詩人ラスール・ガムザードフが佐々木貞子さんの千羽鶴に感銘を受け、戦争に亡くなった人々を悼んで作った詩です。1968年にウクライナ出身の作曲家ヤン・フレンケリが曲をつけ、当時のソビエト連邦で大人気となりました。現在でもロシア・ウクライナで大切に歌い継がれている曲です。世界情勢が不安定な今だからこそ、平和への願いを込めて広島から世界へ届けます。

